

防災犯 安全

ひとくちメモ

【絶対ダメです！】飲酒運転

「少しくらいはいいだろうは絶対ダメです！」アルコールを飲んだら、絶対に車を運転しない。車を運転する時は、絶対にアルコールを飲まない。

飲酒運転などによる交通事故は、当事者だけでなく家族や関係者も不幸にします。「自分だけは大丈夫」ということはありません。「飲んだら乗らない」「飲んだ人には運転させない」を守りましょう。



飲酒運転の罰則

酒酔い運転：3年
以下の懲役または50万円以下の罰金
酒気帯び運転：1年以下の懲役または30万円以下の罰金
自分が飲酒運転をしなくても次のような場合、運転者と同様に刑事責任を問われることがあります。

- ・運転者に飲酒運転をそのかす。
- ・飲酒運転をすることが分かっていて車両を貸したり、酒類を提供したりする。

⑨地域振興課交通防犯係

44 3125

交通安全まめ知識

平成18年1月～8月の市内飲酒運転の検挙件数

飲酒運転検挙件数
30件(22位)
人口1万人当たりの検挙件数
3.62件(5位)
車両千台当たりの検挙件数
0.43件(5位)
免許人口千人当たりの検挙件数
0.54件(5位)
カッコ内は県内42市町内で件数が少ない順位です。

とが多いので問題があります。アルコールの血中濃度が一定の濃度に達した時に現れる症状は、お酒の強い弱いにかかわらず一緒です。



Let's Enjoy EcoLife エコライフ

ふんわりアクセルで「スマートドライブ」

⑨環境衛生課環境保全係 44-3115



タイヤの空気圧を確かめましょう
空気圧が適正値より低いと燃費を悪くすることになります。

例えば、空気圧が適正値より93kPa(キロパスカル)(=0.5kg/cm²)減ったタイヤを適正値に調整すると、1年間で約23ℓのガソリンが節約できます。

適切な暖機運転を心掛けましょう
暖機運転中も、ガソリンを消費していません。

例えば、1日1回(4分間)の暖機運転をやめると、1年間で約21ℓのガソリンが節約できます。

急発進・急加速はやめましょう
急発進や急加速をすると、燃料を余分に消費します。

例えば、急発進・急加速を1日に10回やめると、1年間で約44ℓのガソリンが節約できます。



経済的速度で走行しましょう

一般道路を時速40km、高速道路を時速80kmで走行すると最も燃費がよくなります。

例えば、高速道路で年間1,000kmの距離を時速80kmで走行すると、時速100kmで走行した時に比べて、約11ℓのガソリンが節約できます。

スマートドライブ(省エネルギー運転)は、エネルギーを上手に使う家計と地球に優しい運転方法です。遠出はもちろん近所へのちょっとした移動でも、心掛け一つで燃費が違ってきます。車の使い方や運転のこつを知り、家計にも地球にも優しい運転を心掛けましょう。

余分な荷物は降ろしましょう
必要のない荷物を積んだままにしておくと、加速性能を低下させるだけでなく、燃費を悪くすることになります。例えば、ゴルフバッグ(1個約10kg)を降ろすと、1年間で約2.5ℓのガソリンが節約できます。